



保井智貴 「誰彼のふちとパラレルワールド」

Tomotaka Yasui

“At the Edge of Twilight and a Parallel World”

2025年11月21日（金）～12月20日（土） 火-土 11:00-18:00 / 日・月・祝 休廊

EVENT

○ 2025年11月16日（日）15:00-17:00

近藤恵介・富井大裕 二人展「人かもしれない——なんとなくクラシカル」

トークイベント ②「設営と撤収のエクリチュール」

近藤恵介、富井大裕、保井智貴

このトークイベントは、展覧会と展覧会のあいだに生まれる“余白”を舞台にした試みです。

ひとつの展覧会が幕を閉じ、作品が梱包されて運び出される。その一方で、次の展示の作品がほどかれ、空間に新たな気配が立ち上がっていく時間。

去りゆく思いと、これから始まる期待が交差するその時間と空間で、作家たちは何を語り合うのか。

意味ありげに、しかし確かに何か生まれる瞬間を見つめます。

○ 2025年12月6日（土）トークイベント 15:00- / レセプション 17:00-

保井智貴 × 清家弘幸 × 阿久津裕彦

「グラデーションの世界」

世界は、はっきりと線を引けるものなのでしょうか。

身体の内と外、自然と人工、過去と現在——

それらは明確に分かたれることなく、ゆるやかに溶け合いながら存在しているかもしれません。

今回のトークでは、彫刻、美術解剖学、ファッションという異なる実践を通して、

「境界のない連続」としての世界をどのように感じ取り、形にできるのかを考えます。

変わりゆく街の空気や、身体の輪郭、記憶の残像をめぐりながら、曖昧さの中に潜む何かを探っていきます。

清家弘幸 Hiroyuki Seike

1963年生まれ。1993年「SEIKE」コレクション発表。
「ISSEY MIYAKE PERMANENTE」「MARY QUANT」
「無印良品」などのデザイン、ディレクションを手掛ける。

阿久津裕彦 Hirohiko Akutsu

1973年生まれ。博士（医学）。東京造形大学彫刻専攻領
域准教授。東京芸術大学美術解剖学講座等で美術解剖学、
解剖学を教える。

LOKO GALLERY では初となる保井智貴の個展「誰彼のふちとパラレルワールド」を11月21日より開催いたします。保井は一貫して「人から立ち上がる空気感とは何か」を主題に据え、その不可視の気配を捉え続けています。これまで、古典的で極めて扱いの難しい乾漆という素材を用い、人物像に空気ของความ厚みを纏わせるような着衣像を制作してきました。ある作品を契機に乾漆による制作プロセスを中断し、自らの手業を解体、拡張するかのよう、新たな方法論へと踏み出しています。

その新たな実践では、人物の形態を丸ごと3Dスキャナーによってデータ化し、3Dプロッター（プリンター）によって像を出現させるというプロセスが採用されています。作家の身体性を介さないデジタルの手業は、モデルと作家との距離を意図的に引き離すかのように作用しています。同時にそれは、水平線と直立像をめぐる座標軸の原点を探りつつ、より深い位相を見据える意志が見て取れます。

しかし、デジタルのプロセスによって「人物の空気感」を本当に捉えることができるのでしょうか。むしろ、その過程で生じる予期しない内外（うちそと）からのノイズは形態を緩ませ、輪郭を溶かすなど、表象の純度を揺さぶります。ただし保井は、まさにその揺さぶられた純度の中にこそ惹かれるものがあり、永遠に捉えきれない感覚にこそリアリティーがあり、かつ捉え切りたいという欲があると語ります。

AIの領域において「ノイズ」とはしばしば除去されるべきものとされ、個々の人間的な揺らぎすら不要な変数として排除されがちです。対して保井の実践は、不可視の空気感を求める営みとして、ノイズをただ消去するのではなく、その中に潜む別様の世界——すなわちパラレルワールドを探り当てようとするものです。

また、近年では、その探求を人物像からさらに拡張し、空間や環境そのものを“像”として捉える試みを続けています。映像作品では、家や街の空気を彫刻的に扱い、また《彼の青（ラピスラズリ）》や《彫刻のための服と靴》の作品群では、身体の不在を媒介にして気配を捉えることを試んでいます。

これらの実践はすべて、「人」と「世界」のあわいに生じる空気のグラデーションを見つめる、連続した探求といえるでしょう。ご来場の上、ご清覧いただければ幸いです。

誰彼のふちとパラレルワールド／At the Edge of Twilight and a Parallel World

保井智貴

私は長く、「ある人の空気感」とは何かを捉えようとしてきた。それは、目に見える姿や言葉ではとらえきれない何かなのだろう。その人の内に潜む記憶や経験、身体に刻まれた無意識的な反応が、空気や光、温度、距離、場所の気配と静かに響き合いながら、私やその周囲に微かな影響を及ぼす——そんな、確かさと曖昧さのあわいにあるもの。

この空気感は日々変化し、掴もうとするほどに輪郭や存在を失っていく。それでも私は、「ある人」がいないとき、ふとした瞬間に「あの人のらしさ」が立ち上がるのを感じる。また、誰かが触れた物や残した痕跡にも、その気配が宿ることがある。

たとえそれが「ある人」と関わりのないものであったとしても、それは記憶の投影かもしれないし、あるいは、もうひとつの時間が立ち上がる瞬間なのかもしれない。

本展では、私の日常で出会ってきた「石」「服と靴」「家とまち」「ある人」を起点に、物質と空間に向き合ってきた経験を通して、それらに潜む実在と不在のゆらぎに耳を澄ませます。それぞれのものに重なる記憶の層や、かすかに立ち現れる気配が、現実の輪郭を揺らがせ、私たちの知覚をわずかにずらしていく。

確かなものと不確かなものが重なり合う、誰彼（たそがれ）のふち。私はその境界に立ちつづけ、日常の奥にひそむ並行世界の気配に触れる。その揺らぎのなかでこそ、世界と向き合い、自らの存在を確かめ直すことができるのかもしれない。

「空気感」とは、捉えきれなさをそのまま受け入れる態度なのかもしれない。

保井智貴 Tomotaka Yasui CV

1974 年生まれ。人の存在がもたらす「空気感」に着目し、その目に見えない気配や関係性を彫刻として可視化することを試みている。人物彫刻を起点に、町や家を彫刻に見立てるプロジェクト、彫刻のための服の制作など、空気と存在のあいだを探る多様なアプローチを展開している。

- 1974 ベルギー、アントワープ生まれ
- 2001 東京藝術大学大学院 美術研究科彫刻専攻修了
- 2006 アーティスト・イン・レジデンス
The Jerusalem Center For The Visual Arts / エルサレム
- 2006 ポーラ美術振興財団より国際交流助成を受ける。

Solo Exhibitions

- 2020 “だれかとなにかのなにか” MA2Gallery, 東京
- 2019 “Misty” void+,Tokyo
- 2019 “縦と横” アートのある「間」。Shinjuku Prince Hotel+G, 東京
- 2016 “遠くにある意志” MA2Gallery,Tokyo
- 2016 “空気にある、光と時間。” Mizuho Oshiro Gallery, 鹿児島
- 2014 “佇む空気 / silence” 箱根彫刻の森美術館
- 2014 “light” MA2Gallery, 東京
- 2011 “Tranquil Reflection” Megumi Ogita Gaallery, 東京
- 2008 “capsule” Megumi Ogita Gallery, 東京
- 2007 “Sculpture” Megumi Ogita Gallery, 東京
- 2006 “保井智貴展” 中原悌次郎記念旭川市彫刻美術館, 旭川
- 2006 “Silence” Braverman Gallery, テルアビブ
- 2004 “YASUI Tomotaka Exhibition” SPACE-S, 東京
- 2002 “YASUI Tomotaka Exhibition” ギャラリーせいほう, 東京

Group Exhibitions

- 2025 こと芸 2025, TOYTOYTOY, 香川
- 2025 瀬戸内国際芸術祭 春会期 -SAY YES-, 瀬居島, 坂出
- 2025 LA 「zaicopass」, NADiff a/p/a/r/t, 東京
- 2024 “[VOID+STOCK] exhibition: part3”, void+, 東京
- 2024 “山形ビエンナーレ 2024 イン蔵王 山と土と茶と -SCREWDRIVER カントトモキチ-”, 鴨の谷地沼 ガーデンスペース, 山形
- 2024 “SCREWDRIVER 1st shot-SCULPLAY-”マツモトアートセンター, 松本
- 2024 “皮膚と骨 -モノコトグラデーション-” 彫刻家の家, 香川
- 2023 “みまちがう水” MA2Gallery, 東京
- 2023 “キオクハトキカ” Spiral Garden, 東京
- 2022 AGAIN-ST 10th Exhibition “ルーツ／ツール 彫刻の虚材と教材” 武蔵野美術大学美術館・図書館 展示室 3, 東京
- 2022 “Window Gallery Project vol.3 「日常と非日常」 樋口明宏, 保井智貴” MA2gallery, 東京
- 2022 “眠るドローイングを覗く” 彫刻家の家, 香川
- 2021 神宮の杜芸術祝祭 “気韻生動—平櫛田中と伝統を未来へ継ぐものたち” 明治神宮宝物殿, 東京
- 2021 “Window Gallery Project vol.2 袴田京太郎, 保井智貴” MA2gallery, 東京
- 2020 “高松コンテンポラリーアートアニュアル vol.09 「時どきどき想像」” 高松市美術館, 香川
- 2019 “Small Infinity” MA2Gallery, 東京
- 2019 AGAIN-ST 9th Exhibition “BREAK / BREAKER シュート 彫刻のありか” 武蔵野美術大学 鷹の台キャンパス 2号館 309・310 教室, 東京
- 2019 “内包された温度” 東京藝術大学大学美術館, 東京
- 2019 “Figurative Sculpture [the exploration of its novel ways]” ギャラリーせいほう, 東京

- 2018 “- 組 -guillemets + saruyama with MA2Gallery artists” MA2Gallery, Tokyo
- 2018 AGAIN-ST Extra Edition 8th Exhibition 山形ビエンナーレ
- 2018 “カフェのような、彫刻のような” 北芸術工科大学 芸術研究棟 C ギャラリー (ROOTS & technique), 山形
- 2018 “能 +Art” MA2Gallery, 東京
- 2018 “まちにある家という彫刻。そして空間のための家具” 彫刻家の家, 香川
- 2017 “Timeless—不存在的時間 Contemporary Japanese Art Exhibition” AKI Gallery, 台北 (台湾)
- 2017 あいづまちなかアートプロジェクト “花苑と印” 御薬園御茶屋御殿/福島
- 2017 AGAIN-ST Extra Edition 7th Exhibition “OUTBOUND-彫刻シンポジウム外伝-” 金沢美術工芸大学大学院棟・展示室, 石川
- 2017 AGAIN-ST 6th Exhibition “平和の彫刻” NADiff Gallery / 東京
- 2016 “再発見！ニッポンの立体” 群馬県立館林美術館, 静岡県立美術館, 三重県立美術館 (2017 年巡回)
- 2015 “Wabi Aabi Shima” Thalie Art Foundation, Brussels, ブリュッセル
- 2015 オープンシアター 2015 「KAAT 突然ミュージアム」 KAAT 神奈川芸術劇場, 神奈川
- 2015 “本展 Chapter 2” MA2Gallery, 東京
- 2014 AGAIN-ST 4th Exhibition “Sculpture is (not) Ornaments 置物は彫刻か?” 東北工科大学, Gallery, 山形
- 2013 AGAIN-ST 3rd Exhibition - 彫刻を支えるものは何か -, 東京芸術大学, 東京
- 2013 AGAIN-ST 2nd Exhibition 「首像」-自問するメディアとしての「彫刻」
- 2013 日本大学芸術学部江古田校舎 アートギャラリー / A&D ギャラリー / ChikaEcoda, 東京
- 2013 “A STEP AHEAD OF STANDING STILL” DILLON GALLERY, ニューヨーク
- 2013 “calm stream” 芳賀家蔵, 会津若松
- 2012 “-XYZ-” MegumiOgita Gallery, 東京
- 2012 “色めく彫刻 - よみがえる美意識” 群馬県立館林美術館, 群馬
- 2012 AGAIN - ST 1st Exhibition, 東京造形大学 CS Gallery, 東京
- 2012 “メグロアドレス :Artist in Urban Life” 目黒区美術館, 東京
- 2012 “パラカーム” Busshozan-Onsen, 高松
- 2011 “The two geostationary objects” Art Center Ongoing, 東京
- 2011 “Satellite in Calm” Satellite, 岡山
- 2011 “Calm in Kgawa -Traveling in Many Sense-” 高松
- 2010 “漆のチカラ” 福島県立博物館, 会津若松
- 2010 “夜の庭” La Galerie 59 - Aftersquat, バリ
- 2010 “-calm- Tomoaka Yasui + STORE & Yuuki Ono” Book Gallery Wall, 東京
- 2010 “服と像” L.A.Tomari + STORE, ストア, 東京
- 2010 “-calm-, Tomotaka Yasui, STORE, Yuuki Ono, Dokyuncompany” Megumi Ogita Gallery, 東京
- 2009 “Japan Fantasy” Della Pina Arte Contemporanea, Pietrasanta, Luxembourg
- 2009 “第二回井の会” SPACE-S, 東京
- 2008 “人がつくる、ひと。”文化フォーラム春日井・ギャラリー, 春日井
- 2007 “気・カタチが宿すもの” 中原悌次郎記念旭川市彫刻美術館, 旭川
- 2007 “- ケレン - 主張する色彩” 東京藝術大学大学美術館陳列館, 東京
- 2007 “第一回井の会” SPACE-S, 東京
- 2006 “COOL 4” Gallery360°, 東京
- 2005 “-The Shop- 現代美術の着心地”, 東京

Public Collection

- 中原悌次郎記念旭川市彫刻美術館
- 東京藝術大学大学美術館
- Thalie Art Foundation
- 箱根彫刻の森美術館



<https://yasuitomotaka.com/>

Award

- 2005 第 34 回中原悌二郎賞優秀賞受賞



Tomotaka Yasui “At the Edge of Twilight and a Parallel World”

2025-11-21-Fri. - 12-20-Sat.

Open: Tue-Sat 11:00-18:00 Closed: Sun, Mon, National holidays

EVENT

○ Sunday, November 16, 2025 15:00–17:00

Keisuke Kondo and Motohiro Tomii ” Possibly a Human—Somewhat Classical”
Talk Event 2 “The Écriture of Installation and Dismantling”

Keisuke Kondo, Hirohisa Tomii, Tomotaka Yasui

This talk event is an experiment set in the “in-between space” that emerges between exhibitions. One exhibition comes to an end—its works are packed up and carried away. Meanwhile, the pieces for the next show are being unpacked, and a new presence quietly begins to fill the space.

In this moment where lingering memories of the past and the anticipation of what is to come intersect, what do the artists speak of?

We turn our attention to that fleeting, suggestive instant when something is born—not with fanfare, but with quiet certainty—hovering between absence and presence, past and future.

○ Saturday, December 6, 2025 Talk Event 15:00– / Reception 17:00–

Tomotaka Yasui × Hiroyuki Seike × Hirohiko Akutsu

“The World of Gradation”

Can the world truly be divided by clear lines?
Inside and outside the body, nature and the artificial, past and present—
these may not exist as distinct boundaries, but rather flow into one another, merging gently.

In this talk, through the varied practices of sculpture, artistic anatomy, and fashion, we will explore how the world can be perceived and shaped as a “continuous space without borders.” As we move through the shifting atmosphere of the city, the contours of the body, and the afterimages of memory, we will seek out what lies hidden within ambiguity.

Hiroyuki Seike

Born in 1963. Presented the “SEIKE” collection in 1993. Has worked on design and direction for brands such as ISSEY MIYAKE PERMANENTE, MARY QUANT, and MUJI.

Hirohiko Akutsu

Born in 1973. Ph.D. (Medicine). Associate Professor, Sculpture Department, Tokyo Zokei University. Teaches art anatomy and human anatomy at Tokyo University of the Arts and other institutions.

LOKO GALLERY is pleased to present *At the Edge of Twilight and the Parallel World*, the first solo exhibition by Tomotaka Yasui to be held at the gallery, opening on November 21.

Yasui has long centered his practice on the question: what is the atmosphere that arises from a person? Through his works, he has continued to pursue this invisible presence. Using the classical and technically demanding *kanshitsu* (dry lacquer) method, he has created clothed figures that seem to envelop the body in layers of air. Following a pivotal piece, however, Yasui paused his engagement with *kanshitsu* and embarked on a new phase—one that deconstructs and expands his craftsmanship and methodology.

In this new practice, he uses a 3D scanner to digitize the entire form of the human body and a 3D printer to generate its three-dimensional form. This digitally-driven process, which no longer relies on the artist's direct physical touch, creates a distinct distance between the artist and the model. At the same time, it reveals a will to probe deeper layers of perception—tracing the origins of the horizon and the vertical axis upon which his figure stands.

Yet one might ask: can such digital processes truly capture the atmosphere of a person? In fact, the unintended “noise” that emerges—whether internal or external—loosens forms, dissolves contours, and unsettles the purity of representation. But it is precisely in this disturbed purity that Yasui finds beauty: in the forever elusive sensation lies a deeper reality, and in that very elusiveness, the desire to grasp it entirely.

In the field of artificial intelligence, “noise” is often treated as something to be eliminated; even human unpredictability tends to be dismissed as an unnecessary variable. By contrast, Yasui's work does not seek merely to eliminate noise, but to uncover another world concealed within it—a parallel world that he continues to pursue in his search for the invisible atmosphere of human presence.

In recent years, Yasui has extended this inquiry beyond the human figure to encompass space and environment themselves as sculptural “images.”

In his video works, he treats the atmosphere of houses and cities as sculptural material, while in series such as *his blue (lapis lazuli)* and *Clothing and Shoes for Sculpture*, he uses physical absence as a medium to evoke presence.

Taken together, these practices form a continuous pursuit of the subtle gradations of “air” that arise in the threshold between humanity and the world.

We invite you to visit and experience the exhibition.

At the Edge of Twilight and a Parallel World

Tomotaka Yasui

For a long time, I have been trying to grasp what I call *a person's atmosphere*. Perhaps it is something that cannot be captured by appearance or with words. Memories and experiences dwell within a person, together with the unconscious responses etched into their body. These quietly resonate with air, light, heat, distance, or the presence of place, sending faint ripples through me and my surroundings—something that hovers between certainty and ambiguity.

This atmosphere shifts from day to day; the more I try to grasp it, the more its contours dissolve. Yet even in a person's physical absence, there are moments when their presence suddenly rises before me.

Objects or traces once touched by someone can still breathe with their presence, even after they've gone. And when such things are wholly unrelated, it could simply be a projection of memory—or perhaps the flux of one time bending into another.

In this exhibition, I turn to subjects drawn from my everyday encounters—*stones, clothes and shoes, houses and towns, and someone*. Through them, I trace my experience with material and space. And within them, I hear the atmospheric tremors between presence and absence.

Layers of memory overlapping each object, together with the faint presences that emerge from them, blur the outlines of reality and gently shift our perception.

At the edge of twilight, where the certain and the uncertain overlap, I continue to stand—sensing the presence of a parallel world hidden within the depths of everyday life. Perhaps only within this fluctuation can I truly face the world and reaffirm my own existence.

Perhaps “atmosphere” is, in itself, an attitude—one that accepts the ungraspable as it is.

Tomotaka Yasui CV

- 1974 Born in Antwerp, Belgium
- 2006 Artist in Residence "The Jerusalem Center For The Visual Arts"
Jerusalem, Israel
- 2006 Subsidized by Pola Art Foundation

Solo Exhibitions

- 2020 "Something of someone and something" MA2gallery, Tokyo
- 2019 "Misty" void+, Tokyo
- 2019 "Vertical and Horizontal Art noaru [MA]."
Shinjuku Prince Hotel+G, Tokyo
- 2016 "Will in the distance" MA2Galley, Tokyo
- 2016 "Light and time in the air" Mizuho Oshiro Gallery, Kagoshima
- 2014 "Tomotaka Yasui / silence"
The Hakone Open-Air Museum, Kanagawa
- 2014 "light" MA2Gallery, Tokyo
- 2011 "Tomotaka Yasui -Tranquil Reflection-"
Megumi Ogita Gaallery, Tokyo
- 2008 "Tomoaka Yasui -capsule-" Megumi Ogita Gallery, Tokyo
- 2007 "Tomoaka Yasui -Sculpture-" Megumi Ogita Gallery, Tokyo
- 2006 "YASUI Tomotaka Exhibition" Asahikawa Museum of Sculpture
In Honor of Teijiro Nakahara, Asahikawa, Hokkaido
- 2006 "YASUI Tomotaka Exhibition -Silence-"
Braverman Gallery, Tel Aviv, Israel
- 2004 "YASUI Tomotaka Exhibition" SPACE-S, Tokyo
- 2002 "YASUI Tomotaka Exhibition" Gallery SEIHO, Tokyo

Group Exhibitions

- 2025 KOTOGEI 25, TOYTOYTOY, Takamatsu
- 2025 Setouchi Triennale 2025 Spring Session -SAY YES-,
Seijima/Sakaide
- 2025 LA 「zaicopass」, NADiff a/p/a/r/t, Tokyo
- 2024 "[VOID+STOCK] exhibition: part3", void+, Tokyo
- 2024 YAMAGATA Biennale 2024
in ZAOU -SCREWDRIVER KANTOTOMOKICHI-, ZAOU, Yamagata
- 2024 SCREWDRIVER 1st shot -SCULPLAY-,
Matsumoto Art Center, Matsumoto
- 2024 Skin and Bone -About things that sink into a gradation- Sculptor's
house, Takamatsu
- 2023 "Water, Something Uncertain" MA2Gallery, Tokyo
- 2023 KIOKUWATOKIKA Spiral Garden, Tokyo
- 2022 AGAIN-ST 10th Exhibition "Roots Tools"
Musashino Art University Museum&Library Gallery3, Tokyo
- 2022 Window Gallery Project vol.3 Akihiro Higuchi Tomotaka YASUI
MA2gallery, Tokyo
- 2022 Peek into the sleeping drawing Sculptor's house, Takamatsu
- 2021 Sculpture exhibition "Kiinseido:Denchu Hirakushi and works
connecting tradition with the future2", Meiji Jingu
- 2021 Window Gallery Project vol.2 Kyotaro Hakamata Tomotaka YASUI
MA2gallery, Tokyo
- 2020 "Takamatsu Contemporary Art Annual vol.09 Imagine the presence of
"Time" - leads us to the new views" Takamatsu Art Museum, Kagawa
- 2019 "Small Infinity" MA2Galley, Tokyo
- 2019 AGAIN-ST 9th Exhibition "BREAK / BREAKER"
Musashino Art University, 309・310studio, Tokyo
- 2019 Included temperature
The Art Museum of Tokyo National University of Arts, Tokyo
- 2019 Figurative Sculpture [the exploration of its novel ways]
Gallery SEIHO, Tokyo

- 2018 "-So-guillemets + saruyama with MA2Gallery artists" MA2Galley, Tokyo
- 2018 AGAIN-ST Extra Edition 8th Exhibition Yamagata Biennale
- 2018 Between Cafe and Sculpture? ROOTS & technique gallery, Yamagata
- 2018 Nou+Art MA2Galley, Tokyo
- 2018 A sculpture called a house in the town. And furniture for the space.
Sculptor's house, Takamatsu
- 2017 "Timeless-Contemporary Japanese Art Exhibition" AKI Gallery/Taipei, Taiwan
- 2017 The Aizu Art Project "Flower Garden and sign" Oyakuen, Fukushima
- 2017 AGAIN-ST Extra Edition 7th Exhibition "OUTBOUND"
Kanazawa College of Art, Ishikawa
- 2017 AGAIN-ST 6th Exhibition "Sculpture of peace" NADiff Gallery, Tokyo
- 2016 "Rediscovering Three-Dimensional Art in Japan"
- 2016 Gunma Museum of Art, Tatebayashi, Shizuoka Prefectural Museum of Art,
Mie Prefectural Museum of Art
- 2015 "Wabi Aabi Shima" Thalie Art Foundation, Brussels, Belgium
- 2015 Open Theater "KAAT TOTSUZEN MUSEUM" Kanagawa Arts Theatre, Kanagawa
- 2015 "BOOK Chapter-2" MA2Gallery, Tokyo
- 2014 AGAIN-ST 4th Exhibition " Sculpture is (not) Ornaments"
Tohoku University of Art And Design, Gallery, Yamagata
- 2013 AGAIN-ST 2nd Exhibition Nihon University College of Art Art Gallery, A&D Gallery,
Chika Ecoda, Tokyo
- 2013 AGAIN-ST 3rd Exhibition " Dependent Sculpture"
Tokyo University of The Arts Gallery, Tokyo
- 2013 A STEP AHEAD OF STANDING STILL DILLON GALLERY, N.Y., U.S.A.
- 2013 calm stream Aizu, Fukushima
- 2012 "-XYZ-" MegumiOgita Gallery , Tokyo
- 2012 "A sense of beauty to revive ", Gunma Museum of Art Tatebayashi, Gunma
- 2012 AGAIN - ST 1st Exhibition, Tokyo ZOKEI University CS Gallery, Tokyo
- 2012 Meguro Address:Artist in Urban Life Meguro Museum of Art, Tokyo
- 2012 pala calm Busshozan-Onsen , Takamatsu
- 2011 "The two geostationary objects" Art Center Ongoing, Tokyo
- 2011 Satellite in Calm Satellite, Okayama
- 2011 Calm in Kgawa -Traveling in Many Sense- Takamatsu
- 2010 "Urushi no chikara" Fukushima Museum, Fukushima
- 2010 Jardin de minuit La Galerie 59 - AFTERSQUAT, Paris, France
- 2010 -calm- Tomoaka Yasui + STORE & Yuuki Ono Book Gallery Wall, Tokyo
- 2010 Fuku to Zoh L.A.Tomari + STORE, Store, Tokyo
- 2010 -calm-, Tomotaka Yasui, STORE, Yuuki Ono,
Dokyuncompany Megumi Ogita Gallery, Tokyo
- 2009 "Japan Fantasy" Della Pina Arte Contemporanea, Pietrasanta, Luxembourg
- 2009 Inokai 2 SPACE-S, Tokyo
- 2008 "Humans made by Humans"
Kasugai City Library Culture and Art Center in Aichi Prefecture, Aichi
- 2007 "Ki Katacgu ga Yadosumono"
Asahikawa Museum of Sculpture In Honor of Teijiro Nakahara, Hokkaido
- 2007 KEREN colors be Chinretsu Gallery of the Art Museum of Tokyo University of Arts,
Tokyo
- 2007 Inokai SPACE-S, Tokyo
- 2006 "COOL 4" Gallery360° , Tokyo
- 2005 "The Shop" A comfortable way to wear Modern Art, Tokyo

Public Collection

- Asahikawa Museum of Sculpture In Honor of Teijiro Nakahara
- The Art Museum of Tokyo National University of Arts
- Thalie Art Foundation
- The Hakone Open-Air Museum

Award

- 2005 An excellent prize of the 34th Nakahara Teijiro Award



yasuitomotaka.com